

I 第34週の発生動向 (2010/8/23~2010/8/29)

1. 咽頭結膜熱については、むつ保健所管内において第28週から**警報**が継続しています。
2. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内において第22週から**警報**が継続しています。
3. ヘルパンギーナについては、東地方+青森市保健所管内においては第30週から、むつ保健所管内においては第33週から**警報**が継続しています。

II 第34週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ			2	0.1									2	0.0	2				
小児科 (74) RSウイルス感染症	1	0.1			1	0.1							2	0.0	-2			1	0.1
(75) 咽頭結膜熱					1	0.1				2	0.3	4	1.0	7	0.2	-3			
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	1.8							1	0.2	1	0.3	18	0.4	10			16	2.0
(77) 感染性胃腸炎	10	1.1	8	0.9	13	1.4	4	0.8	6	1.0	19	4.8	60	1.4	-3	5	5.0	5	0.6
(78) 水痘	3	0.3	1	0.1	14	1.6	1	0.2	1	0.2	13	3.3	33	0.8	24			3	0.4
(79) 手足口病	5	0.6	12	1.3	9	1.0	6	1.2	20	3.3	4	1.0	56	1.3	13			5	0.6
(80) 伝染性紅斑	5	0.6			1	0.1			9	1.5			15	0.4	4			5	0.6
(81) 突発性発しん	3	0.3	5	0.6	5	0.6			6	1.0	3	0.8	22	0.5	-12			3	0.4
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ	63	7.0	28	3.1	5	0.6	7	1.4	11	1.8	39	9.8	153	3.6	5	8	8.0	55	6.9
(84) 流行性耳下腺炎			4	0.4	4	0.4	3	0.6			1	0.3	12	0.3	-12				
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5	1	0.3	1	0.5	3	3.0	1	0.5			7	0.6	-6			1	0.5
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎											1	1.0	1	0.1	1				
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	1	1.0					2	2.0	4	0.7	0				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患

(注：届出状況は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：東地方1人、弘前2人、八戸2人、五所川原1人、上十三7人 (22年計:182人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：弘前1人、上十三2人 (22年計: 8人)
- (34) 後天性免疫不全症候群(五類全数把握疾患)：八戸1人 (22年計: 2人)

IV 病原体検出情報

・病原体情報はありませんでした。

☞過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

後天性免疫不全症候群 (五類全数把握疾患)

(エイズ: AIDS; acquired immunodeficiency syndrome)、(HIV; human immunodeficiency virus)

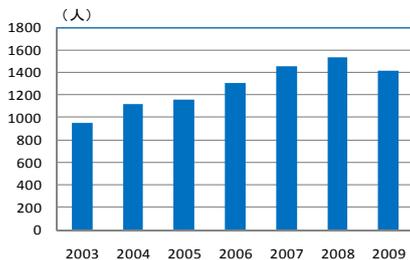


図1 国内報告数年次推移

(2003-2009年感染症発生動向調査)

表 後天性免疫不全症候群報告数

(青森県)

年	累計
2010年(第34週現在)	2人
2009年	7人
2008年	7人
2007年	4人
2006年	6人
2005年	9人

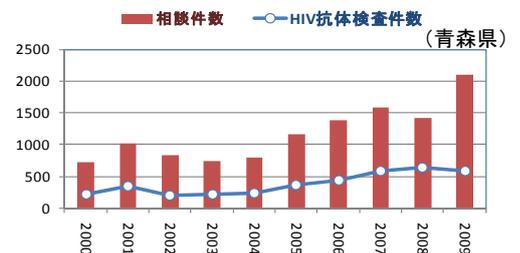


図2 保健所等における HIV 抗体検査件数

及び相談件数 (2000-2009年統計データ: 厚生労働省)

厚生労働省は2010年3~6月(第2四半期)において、HIV検査件数が減少している中で、新たなHIV感染者報告数は263件、エイズ患者報告数は129件と前回(2009年12月~2010年3月)の報告数との比較では増加を示し、HIV相談件数も増加傾向にあることを報道発表しました。国内の年次別報告数では、2003年以降は概ね増加傾向にあります(図1)。青森県においては年間4~9人の報告数で推移しており2010年は現在累計2人です(表)。本県の年次別検査件数は僅かに減少、相談件数は増加傾向にあります(図2)。エイズは発症前治療の開始が重要であることから、早期発見のためHIV検査を受けることをお勧めします。現在、各保健所ではエイズに関する相談も受け付けている他、無料検査を実施しています。希望される方は最寄りの保健所にお問い合わせください。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（注：届出状況は速報値です）単位：人 2010年第11週～第33週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
11	H22.3.15 ~ H22.3.21		アメーバ赤痢1人				
12	H22.3.22 ~ H22.3.28	後天性免疫不全症候群1人					
13	H22.3.29 ~ H22.4.4						
14	H22.4.5 ~ H22.4.11			麻しん1人			
15	H22.4.12 ~ H22.4.18					麻しん1人	
16	H22.4.19 ~ H22.4.25		クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
17	H22.4.26 ~ H22.5.2						
18	H22.5.3 ~ H22.5.9						
19	H22.5.10 ~ H22.5.16				つつが虫病1人		
20	H22.5.17 ~ H22.5.23	A型肝炎1人	ウイルス性肝炎1人				
21	H22.5.24 ~ H22.5.30	アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人			
22	H22.5.31 ~ H22.6.6			つつが虫病1人			
23	H22.6.7 ~ H22.6.13			つつが虫病1人	つつが虫病1人	つつが虫病1人	
24	H22.6.14 ~ H22.6.20	アメーバ赤痢1人					
25	H22.6.21 ~ H22.6.27	つつが虫病1人				つつが虫病1人	
26	H22.6.28 ~ H22.7.4						
27	H22.7.5 ~ H22.7.11	つつが虫病1人		レジオネラ症1人			麻しん1人
28	H22.7.12 ~ H22.7.18			腸管出血性大腸菌感染症1人			
29	H22.7.19 ~ H22.7.25						
30	H22.7.26 ~ H22.8.1					麻しん1人	
31	H22.8.2 ~ H22.8.8	細菌性赤痢1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			
32	H22.8.9 ~ H22.8.15		腸管出血性大腸菌感染症2人				
33	H22.8.16 ~ H22.8.22	・腸管出血性大腸菌感染症1人 ・つつが虫病1人					麻しん1人

VI 結核(二類全数把握疾患) 2010年第11週～第33週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
11	H22.3.15 ~ H22.3.21	1		5			
12	H22.3.22 ~ H22.3.28	1	1	1	2		
13	H22.3.29 ~ H22.4.4	2		2			
14	H22.4.5 ~ H22.4.11	2					
15	H22.4.12 ~ H22.4.18	1		2	1	2	
16	H22.4.19 ~ H22.4.25	1					
17	H22.4.26 ~ H22.5.2				2	2	
18	H22.5.3 ~ H22.5.9	2		1			
19	H22.5.10 ~ H22.5.16	1	3				
20	H22.5.17 ~ H22.5.23	1	1	1		1	
21	H22.5.24 ~ H22.5.30	2	1	1	2	1	
22	H22.5.31 ~ H22.6.6	1	1	1	2	2	1
23	H22.6.7 ~ H22.6.13		3			1	
24	H22.6.14 ~ H22.6.20		7	1			
25	H22.6.21 ~ H22.6.27	2	1				
26	H22.6.28 ~ H22.7.4			6		1	
27	H22.7.5 ~ H22.7.11	1	1	1		1	
28	H22.7.12 ~ H22.7.18	2	3		1		
29	H22.7.19 ~ H22.7.25	1	1				
30	H22.7.26 ~ H22.8.1	2	1	2	1		
31	H22.8.2 ~ H22.8.8	1	3	2	1	1	
32	H22.8.9 ~ H22.8.15	2	1	1		1	
33	H22.8.16 ~ H22.8.22	1	1	2	1	1	1

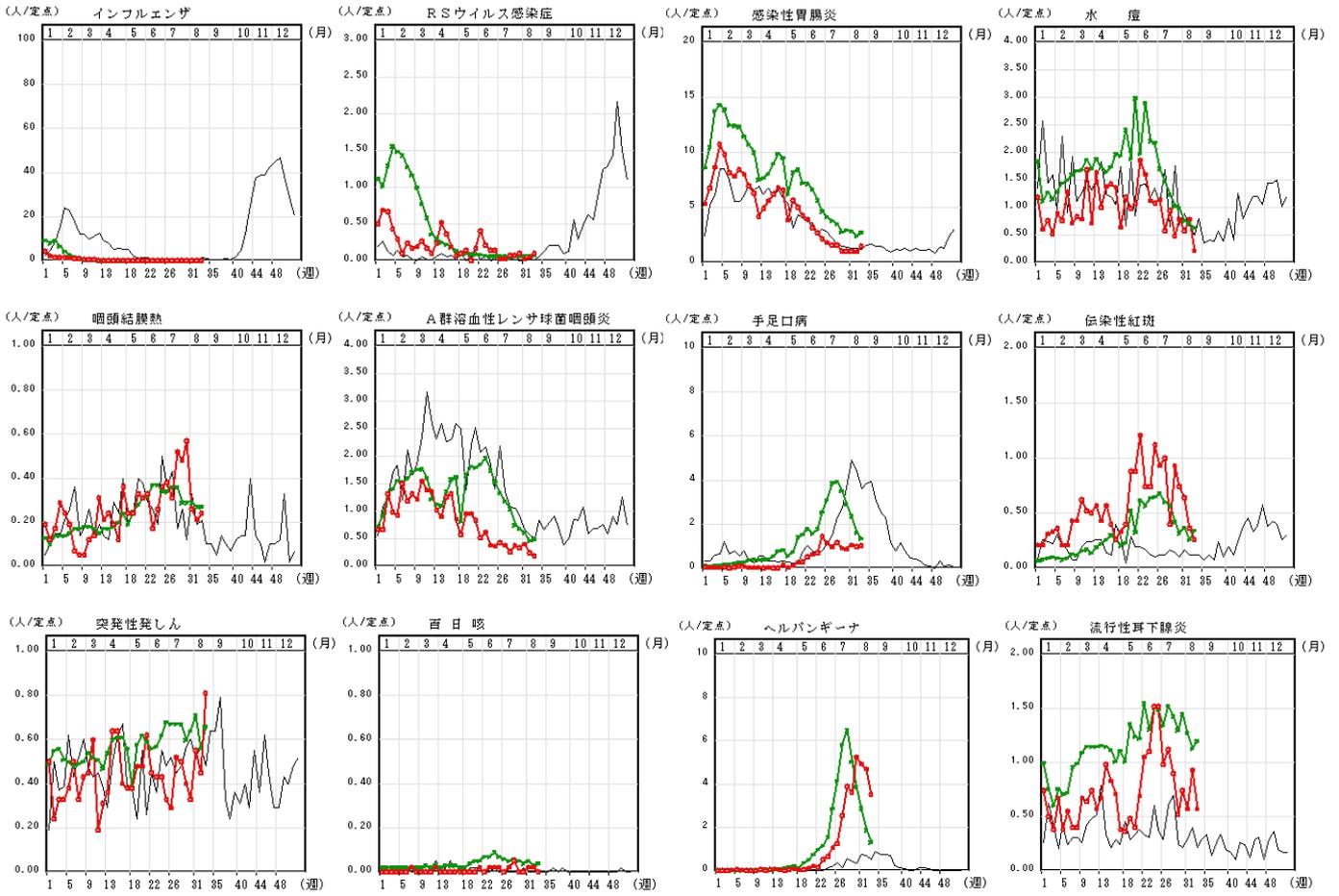
VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）2010年第1週～第33週

（注：届出状況は速報値であり、本県で届出のあった疾患のみを掲載しています）

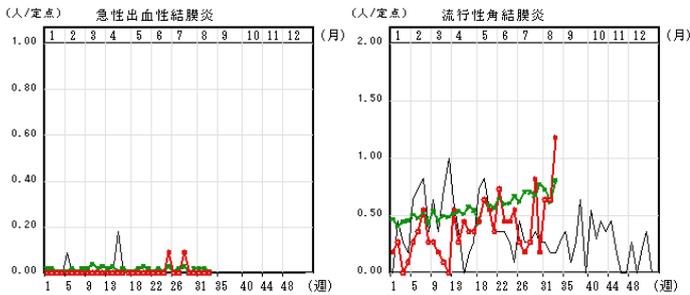
2010年9月1日9時速報値

	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	麻しん
青森県	169	1	1	5	1	10	1	3	2	1	2	1	1	6
全国	16058	5	113	2382	292	111	447	528	128	157	105	937	48	352

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 2010年第1週~第33週



IX 眼科定点把握疾患週別推移 2010年第1週~第33週



X 基幹定点把握疾患週別推移 2010年第1週~第33週

